免震構造建築用 EXジョイント MX

施工・取扱説明書

アルミニウム製エントランス用侵入防止柵　床固定タイプ MX-TEV(P)-Y(A)・壁固定タイプ MX-TEV(P)-K(A)

施工およびご使用される前に必ず最後までお読みください。

この度は、弊社エントランス用侵入防止柵をご使用いただき、誠にありがとうございます。
ご使用になる前に必ずこの「施工・取扱説明書」をご一読いただきますようお願いいたします。
間違った施工・取扱を行いますと商品のガタツキや損傷、事故につながる可能性がありますのでご注意ください。なお、施工終了後は本書をご使用される方へ、必ずお渡しいただくようお願いいたします。
本書は、いつでも見られる場所に必ず保管していただくようお願いいたします。

⚠ 製品の取扱上の注意について

カネソウEXJoint

・上に乗らないで下さい。
本製品の上に乗ったりぶらさがったりしないで下さい。製品及び取付部の壁が壊れるおそれがあります。

・取付・取外しは専門業者に依頼してください。
清掃や交換などのメンテナンスが必要な場合は、専門業者に依頼してください。取付方法を誤ると、破損や変形、ガタツキを招き、事故を引き起こす恐れがあります。取付・清掃・交換・点検などの際は必ず作業用手袋を着用してください。

・加工をしないでください。
切断、穴あけ、切削、変形、塗装などの加工を施さないでください。製品の強度の低下や、腐食の原因となり、事故を引き起こす恐れがあります。

・破損、変形した製品は使用しないでください。
何らかの原因で、破損や変形した製品は、強度が著しく低下しており、事故を引き起こす恐れがあります。
適正な製品に交換してください。

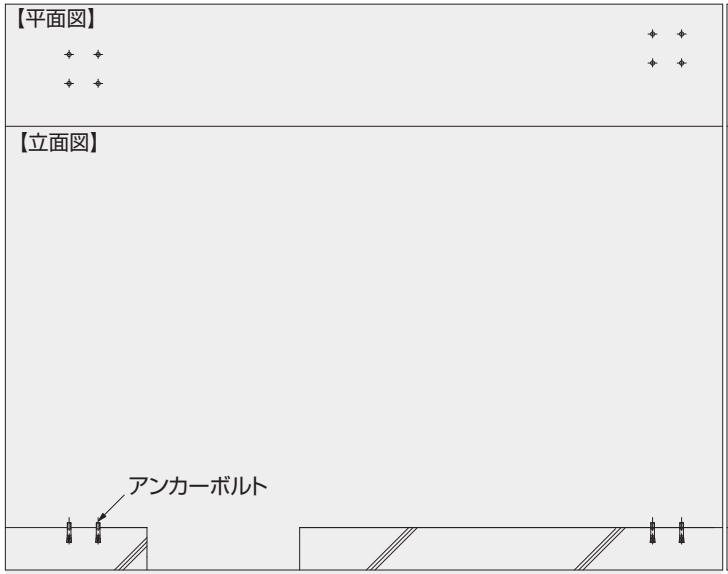
・すき間に指を入れないでください。
格子パネルのすき間などに指を入れると、指詰めなどのケガをする恐れがあります。すき間に指を入れないでください。

・持ち運び及び輸送には、充分ご注意ください。
重量の重い部材がございます。腰などを痛めたり、足の上に落とすとケガの恐れがあります。

・取扱いには軍手や革手袋をご使用してください。
指のケガ及び骨折等の恐れがあります。取扱いの際は軍手や革手袋を必ずご使用してください。

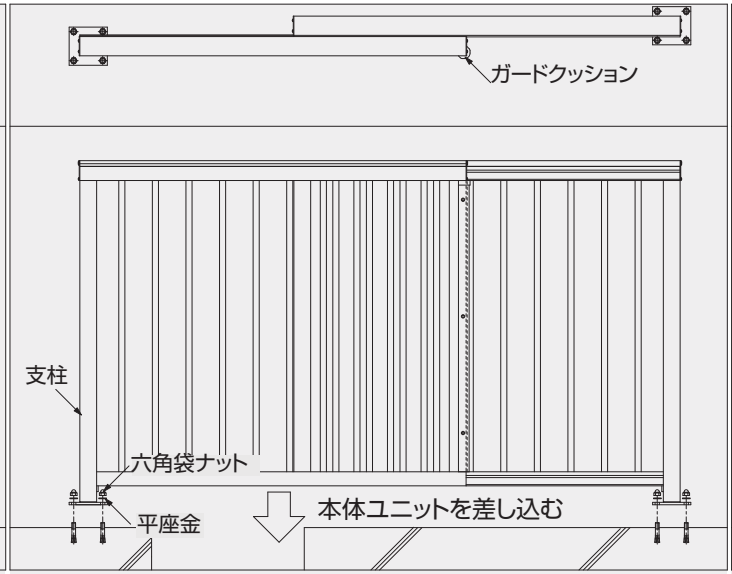
・外部から強い衝撃を与えないでください。
搬入時など本製品に衝撃や荷重をかけないでください。破損や変形する恐れがあります。

MX-TEV(P)-Y(A)施工手順



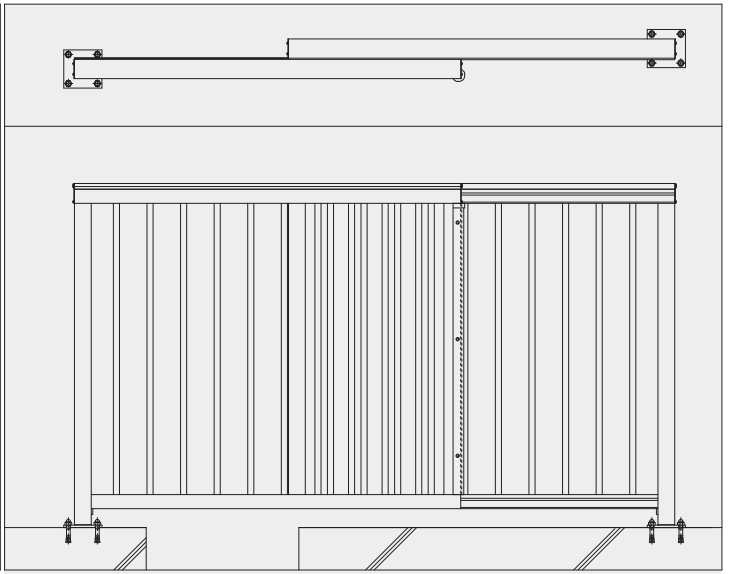
①施工図に従いスラブを仕上げます。
次に、割付図に従いアンカーボルトを打ち込みます。
格子パネルにはR、Lがあります。向きに気をつけてください。

※アンカーボルトは必ずコンクリート面に固定してください。



②支柱の取付穴をボルトに通し、
平座金、六角袋ナットで締め付け固定します。

※ガードクッション付きMX−TEV(P)−YAは通路側にガードクッションがくるように本体ユニットをセットしてください。

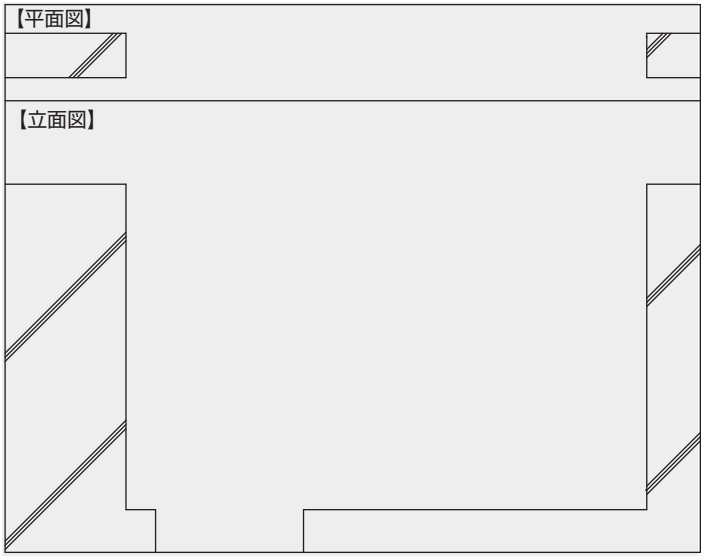


③施工完了です。

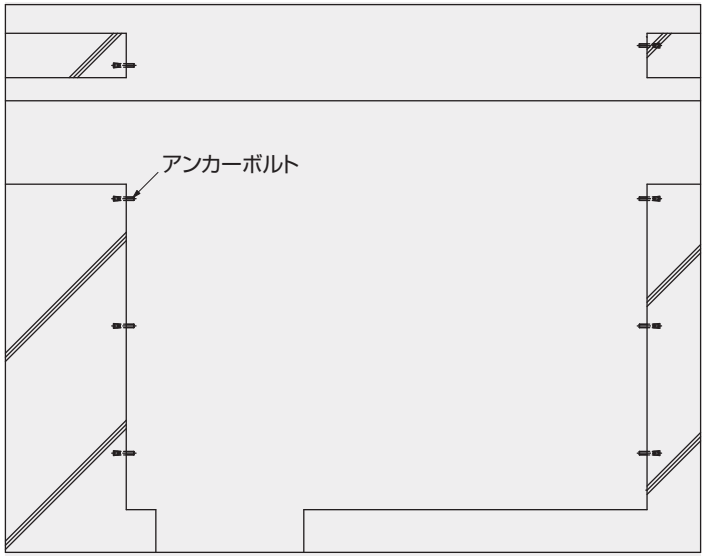
◎アンカーボルト用の下孔を開ける場合、防水層を貫通しないよう注意してください。漏水の原因になります。
◎施工の際、製品に傷をつけないため養生シートは取付部分のみはがして施工してください。

◎この内容は平成24年11月現在のものです。外観・仕様などは改良のため予告なく変更することがあります。

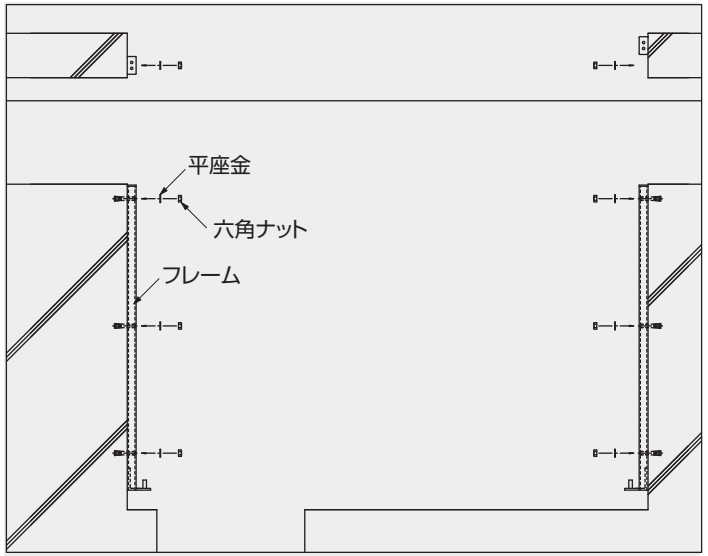
MX-TEV(P)-K(A)施工手順



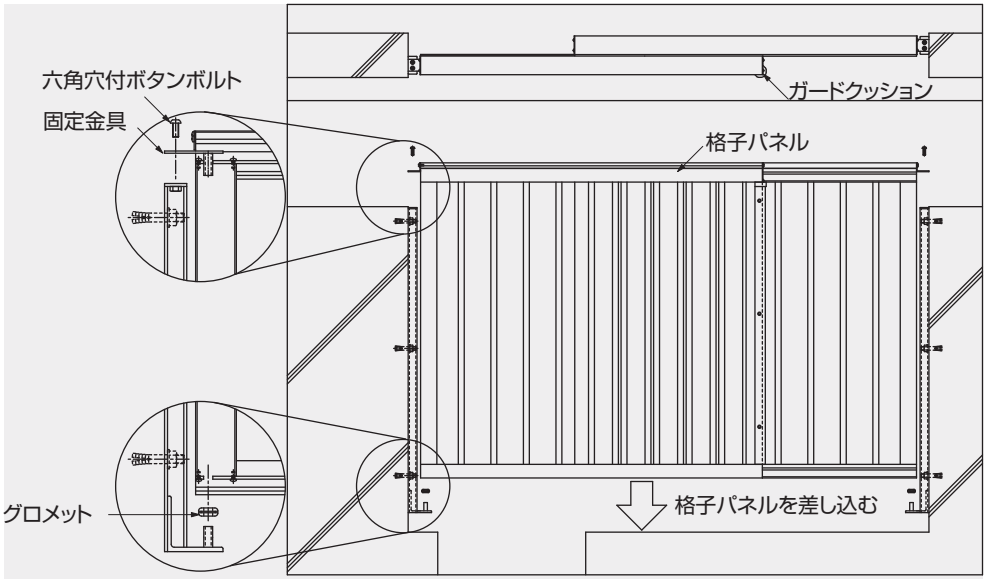
①施工図に従いスラブを仕上げます。



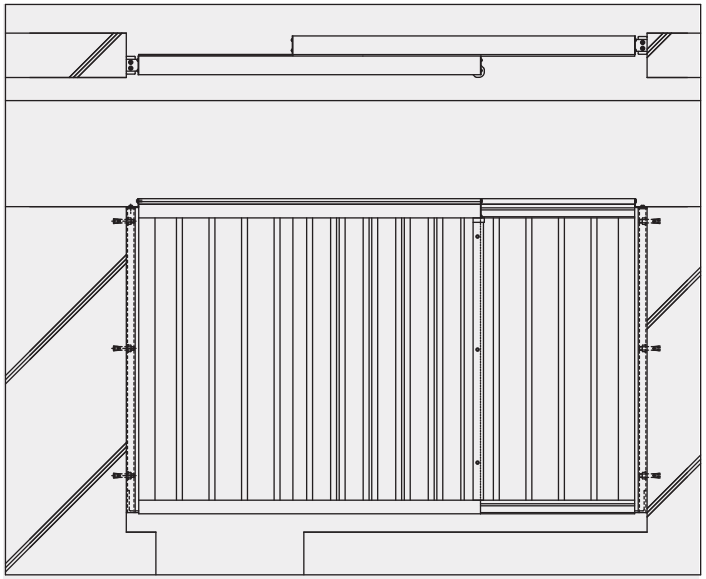
②割付図に従いアンカーボルトを打ち込みます。
格子パネルにはR、Lがあります。向きに気をつけてください。
※アンカーボルトは必ずコンクリート面に固定してください。



③フレームの取付穴をボルトに通し、平座金、六角ナットで締め付け固定します。



④格子パネルの下部に開いている穴にフレームのピンを差し込みます。
その際、ピンにグロメットを差し込んでおいてください。また、上部の固定金具とフレームの穴を合わせ六角穴付ボタンボルトで固定してください。
※ガードクッション付きMX-TEV(P)-KAは通路側にガードクッションがくるように格子パネルをセットしてください。



⑤施工完了です。

◎アンカーボルト用の下孔を開ける場合、防水層を貫通しないよう注意してください。漏水の原因になります。
◎施工の際、製品に傷をつけないため養生シートは取付部分のみはがして施工してください。